# 第40号

令和７年８月15日発行

# ないえ 議会だより

発 行　北海道奈井江町議会　／　編 集　広報常任委員会

北海道町村議長会議員研修会

**奈井江町ホームページ（奈井江町議会）**
https://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/

**奈井江町議会 facebook**
https://www.facebook.com/naie.gikai

**奈井江町議会 Instagram**
https://www.instagram.com/naie.gikai/

ずどーん

主な記事

町 政　第２回定例会報告 ……………… P２
一般質問 ……………… P３～P５
経済団体との懇談会 ……………… P６

# 令和７年度第２回定例会で審議された議案

第２回定例会は６月18日から６月20日まで開催され、奈井江町中小・小規模企業振興基本条例を制定するなど、すべての議案を可決し閉会しました。

傍聴者14名

【議案審議結果】

| | | |
|---|---|---|
| 報告 | 令和６年度 奈井江町一般会計予算 繰越明許費 繰越計算書について | 報告済 |
| | 令和６年度 奈井江町下水道事業会計予算 繰越計算書について | |
| 補正予算 | 令和７年度 奈井江町一般会計補正予算（第１号）<br>歳入歳出7,070万１千円を追加し、予算総額56億8,370万１千円とする | 全会一致 |
| | 令和７年度 奈井江町国民健康保険事業会計補正予算（第１号）<br>歳入歳出109万５千円を追加し、予算総額１億7,659万５千円とする | |
| | 令和７年度 奈井江町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）<br>歳入歳出35万円を追加し、予算総額１億1,615万円とする | |
| | 令和７年度 奈井江町下水道事業会計補正予算（第１号）<br>大規模下水道管路特別重点調査費 １億4,000万円を追加計上<br>資本的収入 建設改良費940万円､国庫補助金456万９千円追加し､5,626万５千円<br>資本的支出 管路建設費１億4,000万円追加し、２億4,072万６千円 | |
| 条例等 | 奈井江町中小・小規模企業振興基本条例<br>中小企業等の振興に関して基本理念を定め、町の責務等を明らかにするとともに、中小企業等の振興に関する施策を総合的に推進し、地域経済の発展及び町民生活の向上を図るため 本条例を制定 | 全会一致 |
| | 奈井江町特定公共賃貸住宅管理条例等の一部を改正する条例<br>本町においてパートナーシップ宣誓制度を導入することに伴い､町営住宅等においてパートナーシップの宣誓を行った者を親族と同様の扱いとする等のため関係条例の一部を改正 | 全会一致 |
| | 工事請負契約について【奈井江町新庁舎外構工事（その２）】<br>契約金額 １億1,836万円　契約者 櫻井千田･山口･共和経常建設共同企業体 | 全会一致 |
| | 町有財産の取得について【防災行政無線等構築整備】<br>契約金額 3,240万６千円　契約者 扶桑電通株式会社 北海道支店 | 全会一致 |
| 人事案 | 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて<br>高田裕幸氏が、令和７年６月30日付けで任期満了、後任に 大西暁陽氏の選任に同意を求める | 全会一致 |

【請願・意見書審議結果】

| 意見書件名 | 提案者 |
|---|---|
| ゼロカーボン北海道の実現に資する森林･林業･木材産業施策の充実･強化を求める意見書 | 石川正人議員 |

上記の意見書は全会一致で可決し、衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣に提出

# 令和７年　第２回臨時会　令和７年４月30日開催

【議案審議結果】

| | | |
|---|---|---|
| 補正予算 | 令和６年度奈井江町一般会計補正予算（第９号）の専決処分の承認を求めることについて<br>歳入歳出予算の総額に、それぞれ4,188万６千円を追加<br>歳入歳出予算の総額は、59億2,247万７千円とする | 承　認 |
| 条例等 | 奈井江町税条例及び奈井江町都市計画税条例の一部を改正する条例<br>地方税法の一部改正に伴い、町税条例及び都市計画性条例の一部を改正 | 全会一致 |
| | 町有財産の取得について（奈井江小学校タブレット整備事業）<br>契約額 11,498,080円　契約者 大丸株式会社<br>北海道公立学校情報機器整備共同調達会議による一般競争入札における決定業者 | 全会一致 |
| | 町有財産の取得について（奈井江中学校タブレット整備事業）<br>契約額 6,972,240円　契約者 大丸株式会社<br>北海道公立学校情報機器整備共同調達会議による一般競争入札における決定業者 | 全会一致 |

# 町政 ここを問う

6月定例会では3人の議員が**一般質問**を行いました。

## 町内循環バスの利便性の推進について

**星 厚早**

**（１）多世代共生型交通システムは、奈井江版生涯活躍のまちを実現する構想の大きな１つであり、利便性を考慮してアップデートされた形で新交通システムが運用されますが、その際の重要なポイントはどこか。**

**町長**

令和４年度より検討を進めてきた新たな仕組みを構築する多世代共生型交通システムの基本構想が昨年９月に完成。

町民の皆様の認知度を上げるための取組と併せて、中心部分の循環をシンプルにすること、自由降車区間を拡大するなど、利便性の向上に路線の見直しを行う内容となっている。

中心部の循環ルートをシンプルにし、従来の１乗車200円の料金設定に加えて、新たに１日間乗り放題となる１日乗車券を300円で発行することを考えており、乗り継ぎを自由に行うことを可能とすることで新たな利用者の需要創出、利用者の負担軽減を図っていく。

町営バスの車両も10年以上経過しており本年度中に新たな車両が納車される予定で、奈井江町のキャッチフレーズ「ずどーん」のペイントを行うなど、親しみやすい町営バスとなるよう取り組んでまいりたい。

**（２）利用する町民のニーズに沿ったルートの見直しやダイヤ改正になっているのか**

**町長**

向ヶ丘線は、これまで東町など市街地の一部を巡回していたルートを見直して、14号東線から町立病院と役場前だけを経由して、最短で交流プラザ「みなクル」まで戻る路線に変更。

南町と北町に運行してた市街地循環線に新たに東町ルートとして宮村団地や寿団地、さらには体育館やパークゴルフ場など細かく走行するルートを追加設定し、３方向に市街地循環をすることで、従来よりもシンプルで分かりやすい仕組みに変更する予定。

また、運行時間の設定については、利用者の皆様からいただいた意見を参考にしながら、他の公共交通機関への乗り継ぎも考慮した設定としており、本年10月１日からの運行開始を予定している。

# 地方創生・奈井江版 生涯活躍のまちについて

石川 正人

**石川**

**質問1**　これまでの事業の評価と評価の方法について

**町長**

各事業は共奏ネットワークを中心に着実な成果が出ている。今後大きく育てていきたい。

評価の方法については事業の点検は必要だが、数値目標を設定して評価するより、自分たちが見つけた課題を共有し超えて行く事が大切と思う。

**石川**

**質問2**　第３期奈井江町まち・ひと・しごと総合戦略の地方創生２・０の基本構想に沿った見直しについて

**町長**

国の基本構想と町の事業課題を照らし合わせ、新たな地域再生計画作成も視野に入れ、財源確保に努めながら幅広い施策の検討をして行く。

**石川**

**再質問**　倍増になった地方創生２・０の事業予算について

**町長**

支援事業の対象が大きく広がり殆どの省庁にある。地域の実態に合わせた意欲的な取り組みへの支援だと思うので研究して活用すると共に、現在の事業のバージョンアップも考えている。

**石川**

**質問3**　共奏ネットワークの役職員の民間人起用について

**町長**

生涯活躍のまち事業は今後更に共奏ネットの主体性が必要になる。町職員は必要範囲内で併任や解除を行い、職員のまちづくりへの自己実現を支えて行きたい。

社員、役員の民間人材の登用は、事業の更なる展開や成熟状況を踏まえて柔軟に検討したい。

**石川**

**再質問**　民間人の役職員による事業の意思決定と、共奏ネットの監査について

**町長**

共奏ネットは役場の政策を具現化する組織であり完全な民営化は行わない。しかし民間の考え方を導入しなければ活性化はしないと思う。

監査については、事業や決算は役場の一般会計に準じた形で町民に公開している。監査委員については今後いろいろな形で勉強して行きたい。

**石川**

**再々質問**　共奏ネットの業務との併任による職員の負担と、厳格な監査を行い町民の理解を得る必要性について

**町長**

国は事業の推進に一般社団法人をツールとして活用し始めてている。今後仕組みや活用の仕方の習熟を見極めて対応して行きたい。

# 防災の取り組みについて

根岸 一志

## ①防災の取り組みについて

**町長**

・防災訓練やセミナーを継続実施。飲料水、アルファ米などの備蓄も5年周期で計画的に更新。
・防災行政無線整備を進め、防災アプリも導入予定。

## ②指定緊急避難所・避難所の整備状況

**指定緊急避難所とは**
災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所。
**指定避難所とは**
災害が発生した場合に避難をしてきた被災者が一定期間生活するための施設。

・指定緊急避難所19か所（収容人数8，310人）地震時8か所が倒壊の可能性。洪水時6か所が浸水の可能性。
・指定避難所7か所（収容人数1，790人）、
・福祉避難所1か所（収容人数100人）
・避難行動は「避難所に行くことだけではない」ことも町民に周知。

## ③新設された防災倉庫の機能と運用

・毛布やおむつやマスク、アルファ米、救急箱などを配置予定。
・高台にある体育館敷地にも分散備蓄庫を整備予定で、輸送路の確保が難しい場合でも柔軟に対応可能に。
・旧倉庫には引き続き発電機やストーブ等を保管。

**根岸再質問、要望**

・老朽施設と避難所の今後
・高齢者対応とハザードマップの改善を要望。

令和7年3月30日 輪島市にて撮影

# ふるさと納税について

**令和6年度は米の需要増で1億円超。今年度は？**

## ①現時点での納税額と今年度の見込み額について

5月末時点で182件・約920万円（前年同期比：61件増、約325万円増）。昨年度は米の需要増で1億円超を達成。令和7年度も達成できればありがたいとの認識。寄附額は米の需給や価格に左右される。

## ②企業版ふるさと納税の実績と今後の展望について

令和6年度は8件・810万円（前年比：5件増、430万円増）。令和7年度も既に1件10万円。直接企業訪問は難しいが、支援事業者を通じたマッチングや、町の取組発信により今後の拡大を図る。使途は「生涯活躍のまち」関連事業に充当。

## ③中間処理業務の内製化による効果について

共奏ネットワークにより業務内製化を実施。開始2か月程度で明確な効果はまだ見えないが、手数料は10％→5％に削減。仕事コンビニとの連携で、発送、写真加工、証明書作成等の地域雇用を創出。費用削減による寄附金設定の抑制、寄附件数の拡大を期待。

**根岸再質問、要望**

**寄附額拡大の限界と新たな戦略について**
主力の米がふるさと納税額の上限を形作っている。特産品の加工場整備（例：レトルト・冷凍・缶詰等）や空き家利活用を提案。企業版ふるさと納税では挙手制による参加企業への働きかけを促進すべきと指摘。

**町長**

納税額を増やすというより、ふるさと納税の理念を重視しつつ、地域に活性化の循環が生まれる仕組みを模索。返礼品の充実は加工や起業支援と連動。共奏ネット・生涯活躍のまち・小規模企業振興条例などと連携しながら、地元発の特産品づくりを支援していく。

「奈井江町地域経済及び雇用に関する要請書」についての

# 奈井江町経済団体の皆様（商工会・建設協会・農協）と懇談会を開催しました

**令和7年　7月 17日　午後6時　役場議場にて**

六月十日　議長室にて副議長同席のもと、奈井江町経済団体を代表して、商工会太田会長・建設協会古屋会長より「奈井江町地域経済及び雇用維持に関する要請書」が議会に提出され受理をいたしました。

　議会の中で、重要な課題であり、現状や情報の共有を図るためにも提出者の皆さんと懇談の場を設けては、との総意により、奈井江町経済団体の皆様のご理解を頂き、七月十七日　午後六時より役場議場にて、経済団体十三名出席を頂き、懇談会を開催いたしました。

6月10日　議長室にて要請書を受理

懇談会では初めに、現在休止中の北海道電力奈井江発電所を含め、砂川発電所が令和九年で廃止となる事での、奈井江町における経済の縮小や雇用に与える影響等についての調査結果が示され、奈井江発電所の休止以来、奈井江経済団体として今後の経済や雇用の懸念に対し、様々な活動に取組んできたこと等が報告されました。

　意見交換の冒頭には、「議会としても危機感を持ってほしい」との発言がありその後、北電奈井江発電所の跡地活用等について様々な意見交換をさせて頂きました。

# 各種研修会報告

## 北海道町村議会議員研修会

日時　7月8日
場所　札幌コンベンションセンター

1部
「地方議会における議員の多彩化にむけて
地域社会の「鏡」としての議会を考える」
講師　西南学院大学法学部教授　勢一智子氏

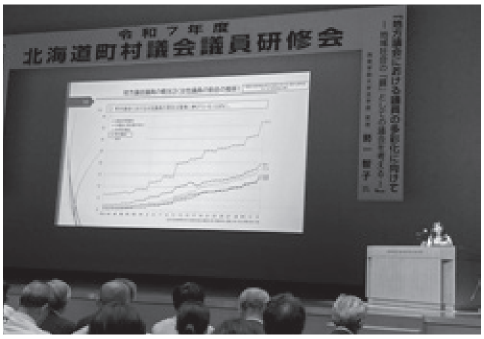
現状の地方議会での、世代や性別等の構成について、今のままでは、若い人達が議会で働く自分たちの姿を描くことが出来ないため、主権者教育の必要性を話され、今後10年～20年先を見据え、持続可能な暮らしが出来るよう、将来世代の声を反映させることが重要とのことでした。

2部
「人口減少社会を生き抜くために」
講師　人口戦略会議副議長　増田寛也氏

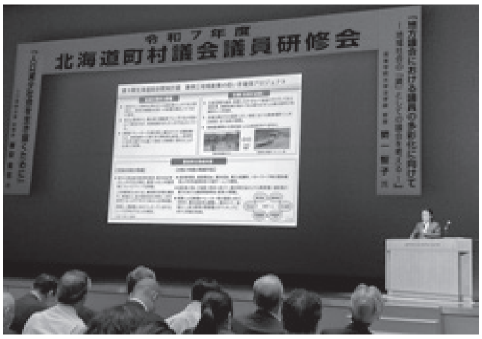
地方創生2・0の話の中から、道内の優良事例を伺った。

また町村業務の見直し、広域連携の重要性、二拠点居住の制度化を受け、即行動に移すこと。

東京一極集中を是正する。若者や女性に選ばれる地域作りが重要と多くの事例をもとに講演をいただきました。



第１部



第２部

## 空地町村議長会議員研修会

日時　7月16日
場所　妹背牛町総合体育
演題　「DZマート」地方部出店への取り組みについて
講師　株式会社ダイゼン代表取締役社長　柴田貢氏

北海道北部や道東、空地を含め31店舗を展開している。徹底した効率化で運営コストを抑え、人口の少ない地方にも出店しており、日本一低い店舗オペレーションコスト企業を目指しています。

## 第32回中空知ふるさと市町村圏議員交流会

日時　7月23日
場所　新十津川町健康福祉センターゆめりあ
演題　人がつながるしくみをつくるコミュニティデザイン
講師　studio－L　代表　山崎　亮氏

地域の課題を地域に住む人達が解決するために、参加者の発言を促し、意見をまとめるファシリテーターやワークショップを取り入れた町民参加のまちづくりが重要との内容でした。

# まちづくり常任委員会
# 所管事務調査報告

## 学校経営について（現地調査を含む）

### タブレットの効果的活用や、情報発信で地域に信頼される学校づくりを評価

**問** 不登校への対応について

**答** 学校から毎月報告を受けて、必要があればスクールカウンセラー等の個別相談も準備し、連携して対応している。

**問** 学習塾（ななかま）の効果の検証について

**答** 子供たちの登校意欲が湧く効果は見られている。能動的主体的に学ぶ姿勢を養う為にも開設しており、学力の向上を含め今後の効果を期待している。

**問** 部活動の地域移行について

**答** 検討委員会で協議して今年度中に方向性を示し、来年度から取り組みたい。

**問** コミュニティー・スクールについて

**答** 今年1年かけて検討を進める。

**問** 教育支援員について

**答** 教育委員会で採用し、現在小学校に3名の町職員、中学校に2名の会計年度任用職員を配置している。資格や年齢制限は無い。

**【委員会からの意見要望】**
更なる小中学校の連携や地域づくりへの参画に期待したい。

## 奈井江町職員の業務体制と定員管理について

### 働き方改革への対応が課題「業務量や人口規模、年齢構成、休職・休業への適切な対応、専門職の確保」

**問** 適切な職員数について

**答** 現在10年後を見据えた定員管理計画を作っている。事務改善や研修の見直しとともに議論して行く。

**問** 現在の休職者の人数と理由について

**答** 4月1日現在で病気での休業が3名。

**問** 職員のメンタルケアについて

**答** プライバシーに配慮しながら毎年全職員のストレスチェックを行い、高ストレスと出た職員に結果を知らせ対応を促している。

**問** 職員の窓口対応・接遇について

**答** 新入職員を中心に研修を受けている。具体的な指摘を受けたら研修の中で対応して行く。

**問** 専門職と技術職について

**答** 専門職は病院の職員以外では、社会福祉士、保健師、保育士等がいる。技術職は土木では土木科の専攻者、建築では2級建築士以上の資格者です。

**【委員会からの意見要望】**
業務体制では年齢構成のバランスを考慮し、将来的に職員の負担が増すことのないよう検討願いたい。

## 地域おこし協力隊の現状について

### 現在の隊員は11名、事業は４事業。今後の採用予定は５名。任期満了後の定住者は２名

**問** **協力隊の活動費の使い方や今後の事業について**

**答** 活動費は個人や隊員同士で検討して事業に充てている。事業は各所管から地域課題の提案があれば必要に応じて対応するが現在は無い。

**問** **隊員への定住に関する情報提供について**

**答** 空家や空き店舗の情報提供をしている。

**問** **ふるさと納税への隊員の活用ついて**

**答** 将来は特産品の町内での生産・管理を検討したい。

**問** **協力隊員の定住の促進と、町民とのコミュニケーションについて**

**答** 集落支援員など財源のある支援制度を活用しながら定住に繋げられればと思う。また今年度から町民に隊員の取組を知らせることを計画している。

**【委員会からの意見要望】**
協力隊員のやる気や知識・経験が町の課題解決や地域おこしに繋がることや、退任後の定住促進に努めていただきたい。

# ようこそ奈井江町へ

定住・移住政策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。
今回は、越後さんです。

この度、奈井江に移住しました越後と申します。

今まで滝川の賃貸住宅に住んでましたが、奈井江町の中古住宅助成が35歳以下だと最大２００万円出るということと、仕事柄滝川での仕事と岩見沢へも行き来することも多かったので、ちょうど中間に近い奈井江町で中古住宅を探してました。

タイミングよく中古住宅が見つかり、古い家でしたが、不動産屋さんが補助金に収まる形でリフォームしてくれたのと、自分でも塗装業をしているので、外壁や屋根の塗装はもちろん、室内もＤＩＹしながら長く住める家にして行きたいと思ってます。

越後さん

## 傍聴者の声

奈井江町商工会
経営指導員　阿部隆史

このたび、初めて議会を傍聴しました。
静かな空気に包まれる議場で、それぞれが一つひとつの議題に真摯に向き合う姿勢に、思わず引き込まれました。
議論は日常に根差した課題から制度的な論点まで多岐にわたり、言葉を尽くして議論する光景は、まさに地域の意思決定の現場そのものでした。
交わされるやりとりには、現実と真っ直ぐに向き合う緊張感と、議論が組み立てられていく面白さ、そして何より地域のことを深く考えながら議論している様子が伝わりました。議会が私たちの暮らしに直結し、地域を動かす場であることを改めて認識した、非常に貴重な経験でした。

## 委員会報告

### 議会運営委員会報告

- **3月10日** 意見案の審議順序の変更について
- **4月30日** 第2回臨時会について
- **6月12日** 第2回定例会の議会運営について

### 広報常任委員会報告

議会だより39号（5月15日発行）編集のため4回の委員会を開催

### 全員協議会報告

- **4月30日** 第2回臨時会について
- **6月11日** 第2回定例会の議案説明について
- **6月18日** 第2回定例会の議会運営について
- **6月20日** 一部事務組合の報告について

## 議会懇談会のお知らせ

▶**日　時　10月17日（金）**
・昼の部　13時30分～15時00分
・夜の部　18時00分～19時30分

▶**場　所　役場2階 大会議室**

参加申込み
QRコード

## 第3回定例会（予定）

■**日 程**　9月5日（金）
～9月12日（金）
■**場 所**　役場3階議事堂
どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせは議会事務局まで
☎ 65－2166
✉ gikai@town.naie.lg.jp

## 北海道町村議会議長会自治功労者表彰
## 森岡　新一　議長

6月10日に開催された北海道町村議会議長会第76回定期総会において、同会の規定に基づき、町議会議員として25年以上にわたり、地方自治の振興発展に寄与貢献した功績があったとして表彰を受け、6月18日、奈井江町役場議場において伝達式を行いました。

## 編集後記

今年は、6月早々から暑さが続き、ハウス内の温度は毎日35度から40度と、さらに湿度が高く、これまでにない異常気象に悩まされています。
6月定例会終了から、議員研修会や、交流会等から多くの事を学ばせていただきました。
人口減少になっても安心して暮らせる町づくりが大切と、日常生活を支える買い物、地域公共交通、病院等をどう維持していけるのかが大きなカギを握っているようです。
今後とも議会だよりのご愛読をよろしくお願いいたします。
（遠藤）

発行　奈井江町議会
編集　広報常任委員会
委員長　遠藤　共子
副委員長　根岸　一志
委員　笹木利津子
星　厚早